



もっと、知りたい!! 美術の評価

~実践編~

日文的Webサイト

日文 🔍



はじめに

学びがいのある授業実践のために

今、世界はVUCA*の時代と呼ばれ、産業構造や情報環境の変化、気候変動や戦争などによって、先行きが不透明で将来の予測がとて難しい状況にあります。そして、学校教育の拠り所となっている学習指導要領は、こうした状況を想定して平成29年に改訂されたものです。

各教科等編に共通に設けられた総説に次のような記述があります。

「人工智能がどれだけ進化し思考できるようになったとしても、その思考の目的を与えたり、目的のよさ・正しさ・美しさを判断したりできるのは人間の最も大きな強みである」

材料や自然から感じ取ったことを基に主題を生み出して形や色彩に置き換えたり、人や社会との関わりから問題を発見して課題解決の方策をデザインしたりする題材を学びの糧とする中学校美術科の学習活動。そこには、子どもたちが自分の頭で考え、造形的な見方・考え方を働かせながら、人間の強みを伸ばし、鍛えていく要素がたくさん含まれています。

美術科の先生方は、子どもたちがVUCAの時代を生きていく上で必要となる資質・能力を育むことを想定し、学校としての〈共通目標〉と、美術科の〈教科目標〉の重なりやつながりを踏まえて題材を構成し、生徒にとって学びがいのある授業を実践する必要があります。そうした授業を実現するためのカリキュラム・マネジメントの中核に位置するのが、学習評価という営みです。

既刊の『もっと知りたい!! 美術の評価～理論編～』では、美術科における学習評価をテーマに、その重要性を確認し、

学習評価を進めていく上で必要となる考え方を共有しました。

本書の実践編は、その考え方やポイントを踏まえ、美術科の内容を構成する幅広い造形活動を通して指導する事項を基に展開されている学習指導・学習評価の実際を紹介するものです。

題材を提供していただいた先生方の授業実践例からご覧いただきたいポイントは、次の四つです。

- 生徒とどのように目標を共有し、どのような工夫をして学習の見通しをもたせているか
- 授業のプロセスからどのように評価情報を得て、どのように生徒にフィードバックしているか
- 多面的な評価情報をどのように評定に総括しているか
- 評価情報を自身の授業の改善にどのように活かそうとしているか

子どもたちは、美術の時間に経験する多様な造形活動を通して、自身の思いや考えを深く掘り下げ、身近な他者・社会・文化・自然へのまなざしと配慮を学びとりながら、未来の担い手となるための資質・能力を伸ばしていきます。そして、その大切な学びを支えているのは美術科の先生による学習指導と学習評価です。本書にて具体例をご覧いただき、ご自身の授業、題材、カリキュラムの改善にお役立ていただければ幸いです。

本書が、先生方が美術科という教科の専門家として、安心して楽しく授業を営んでいただくことの一助となることを願っています。

*Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字を取り、未来の予測が難しくなる状況を意味する。

もくじ

- 1年
 - A表現(1)ア 材料に命を吹き込む …… 2
牧野 朝輝/相模原市立東林中学校
 - A表現(1)イ(ア) ティッシュカバーでチャレンジ! …… 6
～おうちで使う喜ばしいアートをつくらう～
相原 典子/川崎市立東橋中学校
 - A表現(1)イ(イ) 団結の証 …… 10
～デザイナーとなってクラスのマークをデザインしよう～
井上 健/横浜市立希望が丘中学校
- 2年
 - A表現(1)ア ドラマティックな遠近感のある情景 …… 14
荻島 千佳/横浜市立東山田中学校
 - A表現(1)イ(イ) 「+α」も届けるマークデザイン …… 18
吉田 浩気/横浜市立篠原中学校
 - B鑑賞(1)イ 「食卓を彩る」コーディネート活動 …… 22
金阿彌 勉/横浜市立寺尾中学校
- 3年
 - A表現(1)ア 15歳の私 …… 26
～今を見つめ、未来を願う思いを込めて～
森元 勇気/厚木市立藤塚中学校
 - B鑑賞(1)ア はいりこんでみる …… 30
～どんな人がどんな思いでなにを〔池田学作『誕生』〕～
掛波 久美子/横須賀市立大楠中学校

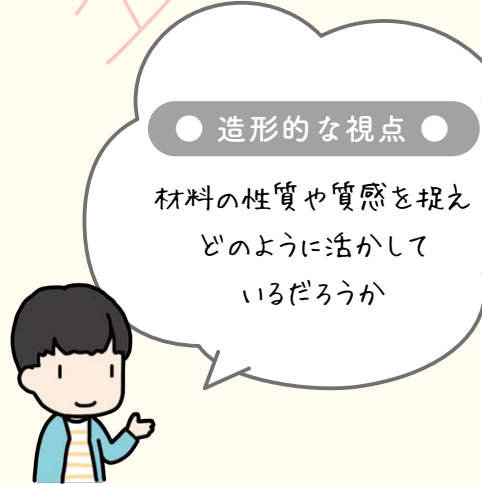
造形的な視点：
造形を捉える多様な視点。形や色彩、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりすることです。生徒が豊かな「造形的な視点」を身に付けられるようにしましょう。

評価の視点：
主な評価の視点について記しています。

- 😊：生徒の成長を見取るポイント。
- ◎：特に「学びの目標」を達成できている作品や様子。
- ：「学びの目標」を達成できている作品や様子。



材料に命を吹き込む



題材について

本校は住宅地に囲まれ、日常的な自然体験が難しい地域です。生徒同士で遊ぶ体験もインターネットを使った遊びやゲームなどが多く、身体を通した経験が豊富な生徒は多くありません。本題材では身の回りにあるさまざまな素材、材料に触れることで、形や色彩、質感などの美しさについて気付き味わい、それらの特徴から主題を生み出していきます。

また、形や色彩、材料などを効果的に構成する中で、全体と部分とのバランスや関係性を考え、立体的にものを捉える造形的な視点を育てたいと考えています。さまざまな材料を扱うこと、全体と部分との関係性を考えることは、造形的な視点の基本を養う上で大切であり、3年間の指導を見据え、第一学年にこの題材を設定しました。

学びの目標

| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう力・人間性等 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 材料の形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、何かに見立てたりするなど全体のイメージで捉えることを理解する。 材料や用具などの活かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表す。 | <ul style="list-style-type: none"> 材料を見つめ感じ取った色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 | <ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な材料の特徴や美しさなどを基に見立てるなどして表現したり、鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。 |

評価規準(B規準)

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|--|
| <p>知 材料の形や色彩、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に、生き物に見立てたりするなど全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技 材料や用具などの活かし方などを身に付け、意図に応じて組み合わせや接着方法を工夫して表している。</p> | <p>発 材料を見つめ感じ取った色彩、質感の特徴や美しさなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p> | <p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく身近な材料の特徴や美しさなどを基に見立てるなどして構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> |

学習の流れ

導入

- **活動内容**
手づくりの「目」を身の回りにある色々なものに貼りつけ、生き物に見立てていく。それを撮影し、授業の最後に鑑賞する。
- **評価の視点**
知 材料の形や色彩、質感などに着目し、想像力を働かせ、生き物に見立てたイメージを捉えることを理解している。
評価ツール 写真、発言の内容
- **指導の工夫**
見立て方としては、細かい部分ではなく、形全体で捉えるように促す。
- **生徒への支援**
 - 見立てが難しい生徒には、顔に見える場所を探すなど具体的に見立てるものを提示する。
 - 見立てることを発展的に行いたい生徒には、廃材や自然物から実際にいる生き物のイメージを見つけてみるよう促す。



展開1

- **活動内容**
ワークシートを活用し、アイデアスケッチを繰り返したり、必要に応じて、加工方法や用具の扱いなどについてメモをしたりしながら、作品のコンセプトをまとめる。
- **評価の視点**
発 生き物を見つめ気付いたこと(体の構造や特徴、美しさ、生命感など)を基に主題を生み出している。
態表 身近にある廃材や自然物などの形や色彩、質感などをさまざまな視点から観察し、生き物の形や色彩、質感との共通点を探そうとしている。
評価ツール ワークシートなど
- **指導の工夫**
 - 見立てをする際に、実際の生き物の特徴をよく観察できるように、タブレット端末で詳しく調べる。
 - 見立てる対象の全体と部分の両方を意識しやすくなるように、実際の写真を手元に置き構想を練る。また構想を広げやすくするように、必要に応じて廃材を手にとれるような環境をつくる。
- **生徒への支援**
材料となる身近な廃材や自然物などを、形や色彩、質感などといったさまざまな視点から捉え、表したい生き物の形や色彩、質感との共通点を探すよう促す。

「材料に命を吹き込む」

学習の目標
身の回りにある自然物や日用品の形や材料などの特徴を生かし、組み合わせで作品をつくる。作品を鑑賞し、材料の組み合わせでできる表現のおもしろさを感じる。

授業予定

| | |
|------|---------------------------------|
| 1 時間 | 形を「みてる」感覚を知り、学習の目標を確認する。 |
| 2 時間 | 生き物の特徴と材料の特性を考えながら、実際の作品の構想を練る。 |
| 3 時間 | 構想を基に材料、形や色彩・質感方法を工夫して制作する。 |
| 4 時間 | 作品を鑑賞し合い、振り返りを行う。 |

構想を練るポイント

- 意図する生き物の形は何か考えよう。
- 素材、形、色に注目してみよう。
- 実際の生き物の形をよく観察してみよう。

① どんな生き物にするか候補をあげてみよう。

② どんな材料が必要になるだろうメモしておこう

※学校で用意しているもの
針、糸、薄紙、糊、接着剤

表したい生き物が決まったら、材料の組み合わせを想像しながら、設計図を考えよう。どんな材料を選び、どんな形にしたら自分の表したい生き物に近づけるかアイデアスケッチをしてみよう。アイデアスケッチは複数書いても構いません。

構想1

構想2

😊
パターン分けし、どんな材料を使うか、それぞれのメリット、デメリットを整理しながら構想を練っている。



●生徒への支援

主題が生み出せていない生徒には、生き物から感じ取ったことや考えたことをワークシートなどから振り返るよう促す。

●活動内容

発想や構想したことなどを基に、生き物の特徴を捉え表現方法を工夫し表す。

●評価の視点

- 技** 材料の特徴を理解し、制作意図に応じた効果的な加工方法や構成を考え、工夫して表している。
- 態表** 材料のよさなどを基に見立てたイメージから構想を練り、表現しようとしている。

評価ツール 制作途中の作品

●指導の工夫

- 立体的に対象を捉えるよう、タブレット端末を活用して複数の視点から作品を撮影するよう指導する。
- 薄いアルミ板や柔らかい金網など柔軟な材料を用意し、部分で見立てたものをつなげやすくすることで想像を広げ、表現しやすくする。



●生徒への支援

- 生き物をもう一度見直しさせたり、表現の意図と材料の加工方法を関連させたりして考えるよう伝える。
- 実際の生き物から遠ざからないように、よく観察し、友だち同士で「何に見えるか」を話し合わせるなどの活動を促す。

😊 実際のクラゲの画像をよく観察しながら、クラゲを制作している。

●活動内容

- タブレット端末で自分の作品を撮影し、写真と作品を基に題材の振り返りを記述する。
- 他生徒の作品の振り返りをタブレット端末内で共有し、実物と合わせて鑑賞する。

●評価の視点

- 鑑** 作品の造形的な美しさを感じ取り、素材からどのような見立てを行い、どのような表現上の工夫をしたのか考えている。
- 態鑑** 作品の造形的なよさなどを感じ取り、作者の意図について考え、見方や感じ方を広げようとしている。

評価ツール 発言の内容、ワークシートなど

●指導の工夫

- 作品をさまざまな角度から撮影するよう伝え、立体の意識を持てるようにする。自分が最も見せたいところを決めることができるよう、主題を強く意識させる。
- 鑑賞では材料の形や色彩、質感に着目し、材料の活かし方と実物との関係を考えるよう伝える。



◎材料の形や色彩、質感の特徴や美しさを多様な視点で効果的に使い、粘り強く創造的な構成を工夫し、心豊かに表現している。



◎材料の形や色彩、質感の特徴や美しさを効果的に使い、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現している。

ふりかえり

●生徒の変容

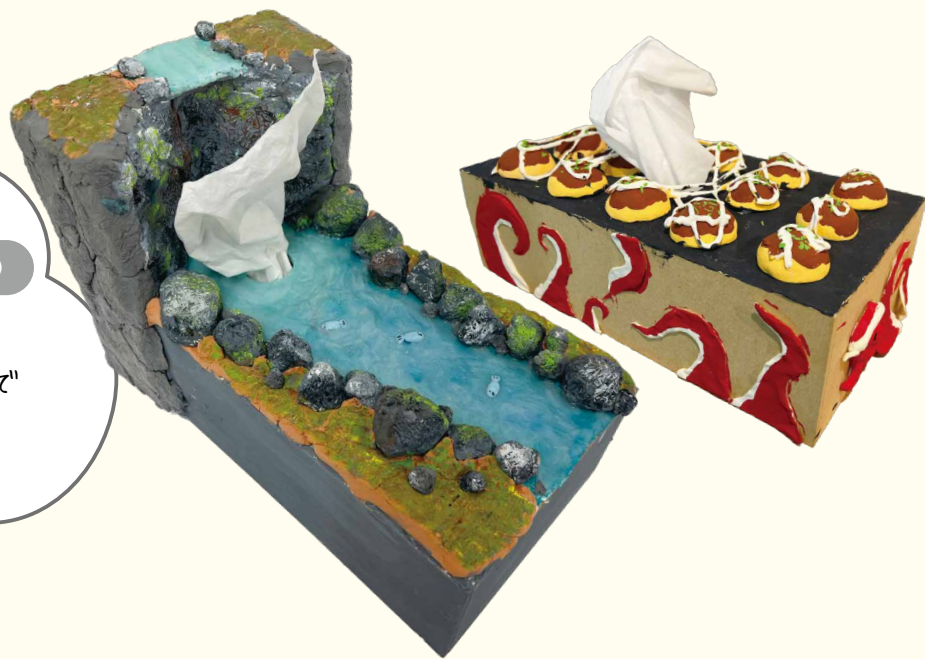
身の回りにある形や色彩に対して関心が強くなり、全体で形を把握すること、部分に注目することを意識的に行えるようになった。多様な材料を扱うことで、材料に対する抵抗感が少なくなった。

●授業改善の視点

見立てることを理解したが、よく観察をせず実際の生き物から離れてしまう生徒が複数出た。見立てている生き物と作品とをつなぐ手立てを生徒にわかりやすく提示できればよかった。この題材では材料との出会いが重要になる。多様な材料に出会わせることは発想を広げていく際に大切である。材料の揃え方について、よりよい方法を考えたい。

ティッシュカバーでチャレンジ! ～おうちで使う喜ばなアートをつくらう～

A表現(1)イ(ア)、(2)ア(ア)イ
B鑑賞(1)ア(イ)
【共通事項】(1)ア・イ



造形的な視点

この作品を見たり生活で使ったりすることでどんな気持ちになるだろうか



題材について

毎日使用するティッシュボックスに、使いやすさとユーモアを備えた装飾を考える表現活動に取り組むことで、デザインが生活を豊かにする実感を得られるのではないかと考えました。

身近なものを使う人の気持ちや材料などから表したいことを思い描き、造形的な要素については、機能性などの理性的な側面と、使用者の心の動きなどの情動的な側面とで捉え、表現の構想を練ることが大切な題材です。

学びの目標

| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう力・人間性等 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解し、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解する。 材料や用具の活かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表し、制作の順序などを考えながら見直しを持って表す。 | <ul style="list-style-type: none"> ティッシュカバーを置く場所や使用する人などの場面から主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練る。 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、ティッシュカバーを使用する人の心情や設置場所の雰囲気の変化などについて考え、見方や感じ方を広げる。 | <ul style="list-style-type: none"> 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、形や色彩、材料などが感情にもたらす効果を理解し、装飾の目的や条件を基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。 |

評価規準(B規準)

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| <p>知 形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。また、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。</p> <p>技 意図に応じて表現方法を工夫し、制作の順序などを考えながら見直しを持って表している。</p> | <p>発 ティッシュカバーを置く場所や使用する人の場面から主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練っている。</p> <p>鑑 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、ティッシュカバーを使用する人の心情や設置場所の雰囲気の変化などについて考え、見方や感じ方を広げている。</p> | <p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に主題を生み出し、楽しく装飾の目的や条件を考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく作品や生活の中の美術の鑑賞の活動に取り組もうとしている。</p> |

学習の流れ

導入

●活動内容

生活の中にあるグッドなデザインを見つける。どんな使いやすさがあって、どんなところがよいデザインなのかに気付き、友だちと伝え合う。

●評価の視点

知 形や色彩、材料などの性質が日常生活の中で使用するものの使いやすさや美しさにつながっていることを理解している。

鑑 目的と機能の調和のとれた美しさを感じ取っている。また、制作者の意図について考えられている。

評価ツール ワークシート、発言の内容

●指導の工夫

生活の中で見つけたグッドなデザインを「①美しい」「②便利」「③ユーモアがある」と感じるものに分けて、それぞれの観点について少人数グループで考えるようにする。

●生徒への支援

イメージすることが難しい生徒には、具体的な例を見せることで、形や色彩のよさや使いやすさ、ユーモアなどについて気が付けるように一緒に考える。

展開1

●活動内容

どこで、誰が使うものにするのか、そのためのモチーフは何にするかなどのコンセプトを考え、アイデアスケッチにまとめる。

●評価の視点

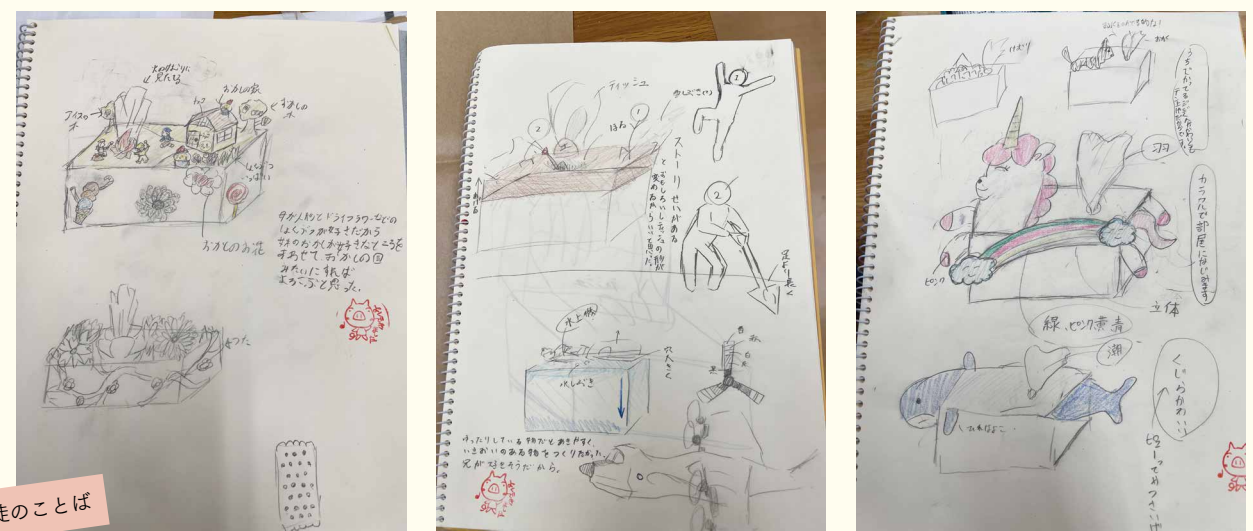
知 形や色彩が使用する人の感情にもたらす効果や、美しくユーモアを備えた装飾を全体のイメージで捉えることを理解している。

発 使用する人や場面を考え、どうしたら喜んだり楽しんだりしてもらえるかを考え、使いやすさと美しさを意識して主題を生み出し、構想を練っている。

評価ツール アイデアスケッチ、発言の内容

●指導の工夫

誰かのためのデザインは生活を豊かにするという導入の活動での気付きや、身の回りの商品のデザインの工夫などを参考に、構想を練るようにする。



生徒のこぼれ

母が好きな人形やドライフラワーと、妹が好きなお菓子を合わせた作品にしたら、母も妹も喜ぶと思って考えました。

兄が楽しめるように、ティッシュが出てくる時の形が変化する面白さを取り入れた、ストーリー性のある作品にしたいと思って考えました。

飼っている犬とユニコーンの可愛らしさを合わせて、家族が楽しんで使えるような作品にしたいと思って考えました。

●生徒への支援

具体的にどこに設置するか、いつ誰が使用するか、どんな飾りがあったら楽しくなりそうかななどの発問を工夫することで、発想を促すようにする。

●活動内容

コンセプトに沿ったデザインを考え、粘土やその他の材料で制作する。作品が完成したら、タイトルと作品説明を作成する。

●評価の視点

技 アイデアスケッチを基に、粘土や道具の使い方を工夫し、見通しを持って制作に取り組んでいる。

態表 生み出した主題を効果的に表すよう、形や色彩、材料や表現方法を工夫し、主体的に表現しようとしている。

評価ツール 粘土作品と取り組み方、タイトルと作品説明の内容

●指導の工夫

生み出した主題を基に、目的や機能などを考えた表現の学習活動に楽しく取り組めるように粘土の特徴や扱い方に注意させ、必要な道具を使いやすいように準備しておく。

●生徒への支援



😊 わくわく感を出すためには、家や人の大きさ、色についてどのようにしたらいいのか考えるように声をかけた。



😊 驚きを表現するための身体の向きや表情について考えてみるように声をかけた。



😊 空をユニコーンが駆けるイメージを表現するために、側面には絵で描くのか、立体で表現するのか考えるように問いかけた。

●活動内容

- ・実際に使っている場面の写真を撮り、タブレット端末またはワークシートに記入して提出する。
- ・他の誰か(家族など)に意見をもらう。

●評価の視点

鑑 生活の中に自分の作品を置くことで、雰囲気の変化に気付き、誰かが喜んだり楽しんだりすることを考えている。

態鑑 生活の中の美術の働きを主体的に感じ取ろうとしている。

評価ツール 完成作品、タイトルと作品説明の内容、ワークシート

●指導の工夫

自分の使用感だけでなく、他者の意見も聞くことで制作したものが役に立つことを実感させる。



作品タイトル

「お菓子の国の森の中で」

生徒のことば

母と妹は植物やお菓子が好きなので、森の中のお菓子の家を見てわくわくしてもらいたいと思ってつくりました。

おうちの方より

絵本のようなとても可愛いティッシュカバーで、ティッシュを使うのが楽しみになりました。

作品タイトル

「温泉をほりあてた!!!」

生徒のことば

兄が楽しんで使ってもらえるように、ティッシュが出てくる様子を温泉が湧き出てきたように表現しました。

おうちの方より

ティッシュが出てくるところが、温泉の湧き出る感じで楽しく使えそうです。ありがとうございます!

作品タイトル

「空を駆けるユニコーン」

生徒のことば

空を駆け抜けるイメージで制作しました。家族が動物の可愛らしさと爽快なイメージで使ってもらいたいです。

おうちの方より

とても可愛らしくできましたね。家族のことを考えて素敵な発想だなと思いました。

ふりかえり

●生徒の変容

自分の作品を他者に使ってもらおうことの喜びを体験することで、自分の作品をより大切にしようという思いにつながっている様子が見られた。また、作品を飾ることのよさに気付き、生活の中で「飾る」ことの大切さを実感している様子もあった。自分の作品を飾ったり、使ったりすることで、生活の中にある他のデザインのよさと使い心地のバランスに気が付けるようになったことが今後の授業の取り組みにも活かしていけると感じた。

●授業改善の視点

タブレット端末を使って、生徒自身が調べたりすることがかえって思考の妨げになっている様子もあるため、次回は生徒が自分なりの発想を大切にできるような仕組みが必要であると感じている。また、写真を撮って提出するなどタブレット端末を有効に使って、生徒とのよりスムーズなやりとりをできるよう工夫したい。

団結の証

～デザイナーとなってクラスのマークをデザインしよう～

A表現(1)イ(イ)、(2)ア(ア)イ
B鑑賞(1)ア(イ)
【共通事項】(1)ア・イ



造形的な視点

表現したイメージは
見る人に
どう伝わるだろうか

題材について

この年代の生徒は個性の伸長が図られる一方で、人間関係の希薄化や集団を構成する一員である自覚の欠如が問題となります。

本題材では、作品の主題を生み出しやすい身近な“学級”をテーマとし、ICTを活用したクラスのマークの制作を通して、イメージの単純化や省略、強調といった表現を学びます。また、生徒が「学級の目標」や「学級の持つ雰囲気や特徴」など自身の所属する学級について深く考えることで、集団生活の向上に大きく寄与することが期待されます。さらに、「デザイナーの仕事」を紹介しながら企業や商品のロゴマークを鑑賞し、キャリア教育とも絡めた学習と位置付けました。

学びの目標

| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう力・人間性等 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 身の回りにあるマークや、抽象的なイメージを捉える造形的な視点について理解する。 意図に応じて材料や用具、ICTの活用を工夫するなどして表現方法を追求し、創造的に表す。 | <ul style="list-style-type: none"> 伝える目的や条件などを基に、クラスのイメージから主題を生み出し、単純化や省略、強調などがもたらす効果や調和のとれた美しさなどを考え表現の構想を練る。 伝達のデザインの洗練されたよさや美しさ、作者の心情や表現の意図と工夫などについて感じ取ったり考えたりするなどして、見方や感じ方を広げる。 | <ul style="list-style-type: none"> 主体的に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組み、つくり出す喜びを味わうようにするとともに、形や色彩などに関わり、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。 |

評価規準(B規準)

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| <p>知 身の回りにあるマークなどの抽象的なイメージを捉える造形的な視点について理解している。</p> <p>技 表したいことに合わせて、材料や用具、アプリケーションの活用を工夫するなどして、創造的にデザインしている。</p> | <p>発 伝える目的や条件などを基に、クラスのイメージから主題を生み出し、単純化や省略、強調などがもたらす効果や、伝達の効果と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練っている。</p> <p>鑑 伝達のデザインのよさや目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、見方や感じ方を広げている。</p> | <p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい、試行錯誤を繰り返しながら楽しく伝達のデザインに表す学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい楽しく伝達のデザインを鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。</p> |

学習の流れ

導入

●活動内容

- 身の回りにある「企業や商品のロゴマーク」を鑑賞し、そのデザインにどのような意味が込められているか、また、そのマークがどのように活用されているかを考えるとともに、「デザイナーの仕事」について学習する。
- クラスをイメージできる造形的な要素について班で話し合ったり、ワークシートを用いて自身のクラスについて発想を広げたり、形や色彩に思いや考えを込めてアイデアスケッチをし構想を練ったりして主題を生み出す。

●評価の視点

- 知** 身の回りにあるマークなどの抽象的なイメージを捉える造形的な視点について理解している。
- 発** クラスのイメージから主題を生み出し、単純化や省略、強調などがもたらす効果や、伝達の効果と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練っている。

評価ツール ワークシート、アイデアスケッチ、発言の内容

●指導の工夫

ワークシートには、アイデアを言葉に書き出したり、絵に表したりできる自由度の高い項目を設け、生徒の発想を促す。

題材の目標を観点ごとに示し学習のねらいを明確化!

アイデアを言葉に書き出したり、絵に表したり、生徒が発想しやすく工夫!

MISSION
●意図した内容に布した形を単純化や省略等を通して整理し、伝達するイメージを伝え、工夫して発想を持って表す。
●クラスの目標を目的とし、自分のクラスを象徴的に表すためにわかりやすく印象的なマークの形を構想を練る。
●わかりやすく印象に残るマークをデザインすることに関心をもち、意図的に取り組む。

●ひと目で伝える工夫
(資料より抜粋)「具体的なものや行為などの形や色や意を単純化や強調することで、わかりやすく情報を伝えます。……」

●かたちのないイメージを簡単なかたちに表そう
課題2 次の中から好きな言葉を簡単なかたちに表してみよう!
明るい ・ 楽しい ・ 団結する ・ まじめ ・ 個性

●クラスのマークを考えてみよう (アイデアスケッチ)
クラスを構成するもの(要素)を整理してみよう
Q. 字やスタンプ等をスタンプブックに書いてみながら、自由に構想しよう
●クラスの番号は? (漢数字、ローマ数字、ローマ数字) ●学級目標は?
●担任の先生のイメージは? ●クラスの雰囲気orこうなったらいいな

●アイデアをまとめてみよう
発やすさ、わかりやすさ、繰り返しやすさ を意識してブラッシュアップしよう!
●構成(配置)の仕方や構成するもの大きさで印象が大きく変わります。
パターンをいろいろ考えていくつが出て比べてみたり、調整したりしてみよう!

展開1

●活動内容

- クラスを構成する要素やイメージを形に表す(アイデアをまとめる)。
- 主題を基にわかりやすさと美しさなどの調和や造形的な効果を考え、デザインの構想を練る。

●評価の視点

- 発** 単純化や省略、強調などがもたらす効果や、伝達の効果と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練っている。
- 鑑** 伝達のデザインの目的や機能などを感じ取り、見方や感じ方を広げている。
- 態表** 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に主題を生み出し、全体的な調和などを総合的に考え構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しを持って表す表現の学習活動に取り組もうとしている。

評価ツール 発言の内容、アイデアスケッチなど

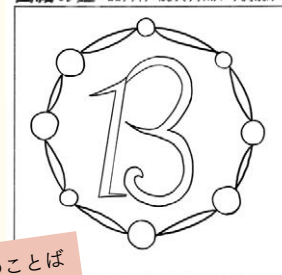
●指導の工夫

生徒のアイデアを実際に作品にするとどんなイメージになるのか、アプリケーションを用いてタブレット端末上でいくつかのパターンを示すなどして、見通しを持った取り組みを促す。

●生徒への支援

- クラスに目を向けて考え、クラスの目標や出来事などを文字に書いてみようと言かけし、可視化することでイメージを膨らませやすくなるよう支援し、表したい思いを確かめる。
- 単純化や省略、強調の活用例を示しながら適切な発想ができるよう促し、声かけを通して理解を深めさせる。

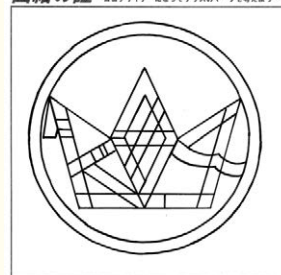
団結の証 -ロゴデザイナーになってクラスのマークを考えよう-



生徒のことは

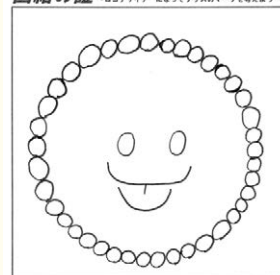
真ん中の文字は1と3を組み合わせて学級目標の「The Best」のBを表現しました。周りの丸は人を表し、みんなの輪があって、手をつなぐように団結しているのを表しています。

団結の証 -ロゴデザイナーになってクラスのマークを考えよう-



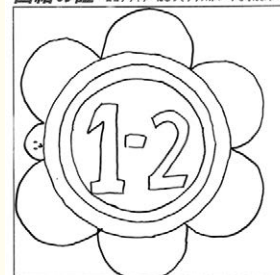
いい感じのkingという目標なので王冠の形で1-4いい感じのkingという文字を入れました。線が多く交わっているということで、誰とでも協力、助け合う、関係を大切にできる、そんなクラスになってほしいという思いも込めました。

団結の証 -ロゴデザイナーになってクラスのマークを考えよう-



シンの字が顔に見えたので笑っている顔にしました。また、1組は笑顔が多いので笑顔な顔のマークがぴったりだと思います。顔の周りの丸の数は39個あって、1組のそれぞれの個性を表現しました。

団結の証 -ロゴデザイナーになってクラスのマークを考えよう-



学年の明るく楽しいイメージを丸みのある形で表した。また個性豊かなクラスをさまざまな色で表した。

展開2

●活動内容

タブレット端末のカメラ機能を使って撮影したデザイン案を基に、意図に応じて形と色彩の効果を考え、アプリケーションに取り込み着彩する。

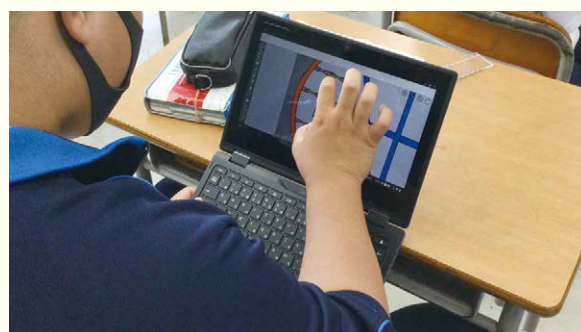
●評価の視点

技 意図に応じて形と色彩の効果を考え、タブレット端末やアプリケーションの活用を工夫するなどして、創造的にデザインしている。

評価ツール 制作途中の作品、ふりかえりシート

●指導の工夫

アプリケーションの使い方のプリントを準備し、生徒がいつでも確認できるようにする。



○クラスの生徒をさまざまな色や大きさの丸で表したり、学級を表す文字を中央に表現している。
○学級の目標やクラスのイメージから主題を生み出している。



○学級目標やクラス番号を組み込んだり、学級の協力のイメージを丸で囲んで表現している。
○学級の目標やこうなってほしいという願いから主題を生み出している。



○クラスの生徒をさまざまな色の丸で表したり、学級目標でクラスのイメージを表現している。
○学級目標やクラスのイメージから主題を生み出している。



○学級のイメージを表現している。
○学級のイメージから主題を生み出している。

●活動内容

- ・ワークシートで「これまでの自身の表現」を振り返った後、自身の作品をモニターに映してプレゼンテーションを行うことで、自他の表現の共有を図り、味わう。
- ・タブレット端末を活用して、最もクラスのマークとしてふさわしいと思う作品に投票をし、クラスのマークを決定する。

●評価の視点

鑑 友だちの表現から構成のよさや美しさを感じ取ったり、表現の意図と工夫などについて考えたりして、見方や感じ方を広げている。

態鑑 それぞれの作品の造形的なよさや意図を考え、調和のとれたデザインを感じ取ろうとしている。

評価ツール 発言の内容、ワークシート、ふりかえりシートなど

●指導の工夫

振り返りでは、「学びの目標」に合わせて観点ごとに質問を設け、自身の制作について振り返りやすくする。

●鑑賞会における回答

- 今回の学習を通して、どんな知識や技能を学ぶ(得る)ことができましたか？
 - 形によって雰囲気が変わるということを知った。
 - ・一つのデザインにたくさんの意味が込められることがわかった。
- 今回の学習で得た知識や技能を通し、「クラスのマーク」「団結」というテーマに対して、どのように考えてテーマを設定し、どのように工夫して表現しましたか？
 - たくさんの線が交わっていることからクラスの人が誰とでも協力し、助け合うことができる人になってほしい、人との関係を大切にしたいという思いを込めました。
 - ・一部を白にして、これから白い部分をみんなで色付けていこうというテーマで描きました。
- 今回の学習において、主体的に取り組んだこと(がんばったこと)や学習を通して見方や考え方が変わった点はどこですか？
 - 伝えたいことをわかりやすくするには、細かく書かないで簡潔にまとめる方が、強調したいところを伝えられると考えが変わった。
 - ・この学習を通して色の付け方や配色に対する考えが変わった。色によって与える雰囲気が変わることを学び、色について興味を持つようになった。

●ふりかえりシート

生徒のことは

前に描いたマークを見直しているとき、私たちがでなく「他の人の力を借りて成長している」ということを忘れたくないと思ったから、違う形の花びらを入れた。花と葉のバランスがおかしくならないように何度も描き直して納得のいくマークを完成させた。

😊 生み出した主題や、伝えたいことを基にした表現活動に取り組もうとする姿勢が見取れる。

1-3の1と3を足して、学級目標のThe BestのBと少し、強引かもしれないけれどTを入れて「13」のようにしてみました。このマークを丸で囲い、その上に丸を描くことで、みんなの輪で団結しているようにしてみました。

😊 自分なりの「こうしたい」という思いを持って、粘り強く調整する姿勢が見取れる。

ふりかえり

●生徒の変容

- ・導入時に身の回りにある企業や商品のロゴマークの鑑賞を行ったため、マークに対して関心が高まり、街で目にするマークにもさまざまな思いや考えがあることに気づき、見方や感じ方が変わった。
- ・表現においてはマークを見る側に立ち、よりよいかたちを模索して客観的な視点で制作し、簡略化や省略、強調することで伝わるデザインのよさに気付くことができた。
- ・本題材を通してクラスの仲間やさまざまな思いに気付くことができた生徒や、学級目標に対する思いが変わった生徒、集団への協力に対する思いを強くした生徒が多く見られたことから、特別活動との教科等横断的な学びとなった。

●授業改善の視点

- ・一人1台のタブレット端末を活用し、アプリケーションで着彩したり、機能を活かして提出できるようにしたりして授業改善を図った。またタブレット端末を活用することで多くの生徒が調べ学習をより主体的に行うようになり、学習のねらいに対して生徒の理解の深まりを感じられるようになった。
- ・今後もタブレット端末を活用することで、よりスムーズな生徒同士の作品の共有や、不登校生徒へのよりよい対応など、改善できることが多く考えられる。

ドラマティックな遠近感のある情景

A表現(1)ア(ア)、(2)ア(ア)
B鑑賞(1)ア(ア)
〔共通事項〕(1)ア・イ



造形的な視点

内面の世界は
形や色彩、光などに
どのように重ね合わせて
表現できるだろう

題材について

表現の世界は、作者の見方や考え方で変わります。写真でなく絵画で表すからこそ可能な“よさや美しさ”を思ったように表現するには、ある程度の知識を備えることも必要です。絵づくりには感覚や才能のみならず知性を伴うことを実感的に理解することを目標としました。

学校生活にまつわる自己の内面的な世界(ドラマ)を、絵画表現のよさや多様なテクニックを用い、表したい情景の中に作者・鑑賞者が佇んでいるような場の空気を描き出す遠近法を大胆に組み合わせ、思考し判断して表す題材としました。

学びの目標

| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう力・人間性等 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。 材料や用具の特性を活かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。 | <ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、美意識を高め見方や感じ方を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に身の回りの世界から感じ取ったことや考えたことなどを基にした絵画の表現や鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとする。 |

評価規準(B規準)

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|---|
| <p>知 さまざまな遠近法や、情景と風景の差、色彩、材料、光などの性質が感情にもたらす効果などを理解している。</p> <p>技 鉛筆や練り消しゴム、絵の具等の効果的な活かし方などを身につけ、意図に応じて工夫して表現している。</p> | <p>発 身の回りの出来事や場所を深く見詰め感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や感情などの心情を基に主題を生み出し、表現材料の効果などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</p> <p>鑑 作品に描かれたもの、構図や画材の選択などから造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の幅広い学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品や美術文化などについて考えるなど、幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> |

学習の流れ

導入

●活動内容

- 風景画と情景画の違いについてタブレット端末で検索し、自分の考えをまとめる。
- 動画とスライドを使って学習。遠近感の表し方や、それらがもたらす心理的效果に気付く。

●評価の視点

- 知** 遠近法とそれらがもたらす心理的效果について理解している。
- 発** どんなドラマを描きたいかを感じ取ったことを基に考えている。

●指導の工夫

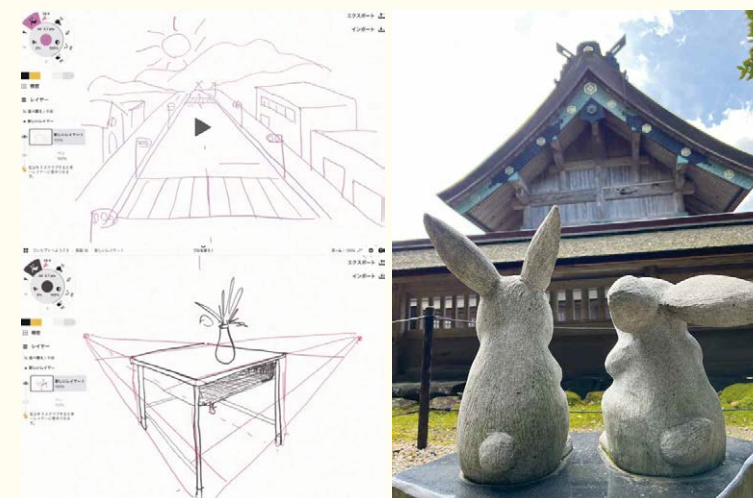
- 紹介する写真や作品について、どんな「造形的な視点」があるか紹介したり、発言させたりしながら進める。
- 既習の作品などを振り返らせる。

●生徒への支援

日々の生活の中にある小さな出来事やストーリーに気付かせる。



スライドを使って学習。



一点透視図法と二点透視図法の共通点と違いなどを学ぶ。

展開1

●活動内容

- 鉛筆の持ち方や表現方法、練り消しゴムの扱い方について実験しながら基礎基本を学ぶ。
- 校内の描きたい場所を見つけ、タブレット端末で撮影する。

●評価の視点

- 知** 鉛筆の持ち方や練り消しゴムの扱い方などの表現方法が感情にもたらす効果を理解している。
- 発** どんなドラマ(場所)を描きたいか考え、構想を練っている。

●指導の工夫

- 動画等を活用し、全員にできた実感を持てるよう巡回しながら指導する。
- 生徒が撮影したい(描きたい)場所に立ち入れるよう事前に職員に周知しておく。本時以外の時間の指定などがある場合は、個別に対応する。



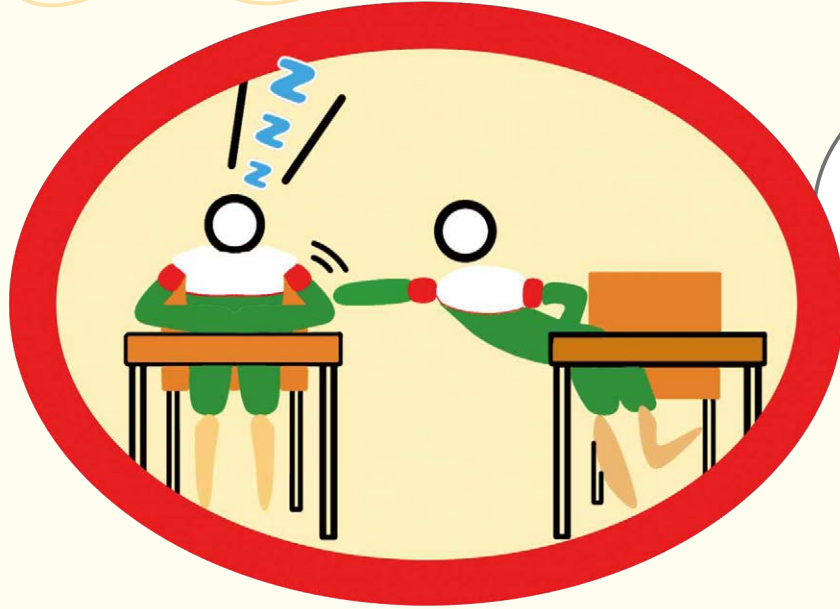
生徒にシェアする技法動画



鉛筆を使いこなそう

「+α」も届けるマークデザイン

A表現(1)イ(イ)、(2)ア(ア)
B鑑賞(1)ア(ア)イ
[共通事項](1)ア・イ



● 造形的な視点 ●

同じ意味を持つピクトグラムを
作者や国によって見比べると
どんな違いがあるだろう



題材について

本校では、第2学年の教育目標を「想いを育む」としています。「ピクトグラム」は、過剰な情報や造作を削ぎ落としデザインされているものですが、国によって異なる歩行者用信号やご当地ピクトグラムのように、その土地の文化や特徴を反映することで人々に永く親しまれるものも多く存在します。

本題材では、「必要な情報を見やすく、わかりやすく」という指標としてだけでなく、場所や人に寄り添い生活を豊かにする「+α」のあるピクトグラムをテーマに掲げ、そのデザインを通して「他者への想い」を育めるような授業を目指しました。

学びの目標

| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう力・人間性等 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> マークの形や色彩が見る人の感情にもたらす効果について理解する。 意図に応じて材料や用具、ICTの活用を工夫するなどして表現方法を追求し、創造的に表す。 | <ul style="list-style-type: none"> 快適で豊かな学校環境のイメージから主題を生み出し、さまざまな効果などを総合的に考え表現の構想を練る。 伝達のデザインのよさや作者の表現意図などについて感じたり考えたりするなどして、見方や感じ方を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> つくりだす喜びを味わうとともに、形や色彩などに関わり、楽しく豊かな生活環境を創造しようとする。 |

評価規準(B規準)

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|--|
| <p>知 身の回りにあるピクトグラムの抽象的なイメージを捉える造形的な視点について理解している。</p> <p>技 表したいことに合わせて、材料や用具、アプリケーションの活用を工夫するなどして、創造的にデザインに表している。</p> | <p>発 伝える目的や条件などを基に、快適で豊かな学校環境のイメージから主題を生み出し、単純化や省略、強調などがもたらす効果や、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p>鑑 伝達のデザインのよさや目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝達のデザインに表す学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> |

学習の流れ

導入

● 活動内容

- 身近なピクトグラムには、視覚伝達のためのどんな工夫があるかを考え、ピクトグラムの意義やデザインの考え方を学ぶ。
- 快適で豊かな学校生活を送るために、どんなピクトグラムがあるとよいか考える。
- 実際にピクトグラムを見る生徒に寄り添い、親しまれるための「+α」とは何かを考える。

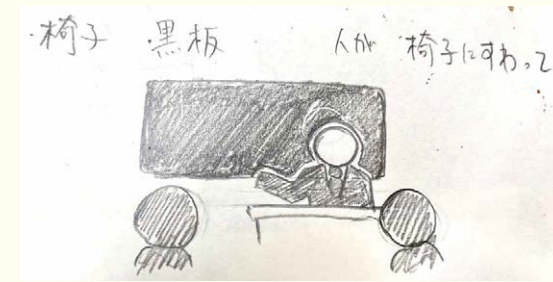
● 評価の視点

- 知** 形や色彩などが感情にもたらす効果と、伝達効果などを基に全体のイメージで捉えることを理解している。
- 鑑** マークに込められた意味や工夫を理解するとともに、その面白さや効果について関心を持ち、学校生活をより豊かにするピクトグラムはどのようなものか考えている。
- 態鑑** デザインによって学校生活をより豊かにしていこうとする視点を持つようとしている。

評価ツール ワークシート、発言の内容

● 指導の工夫

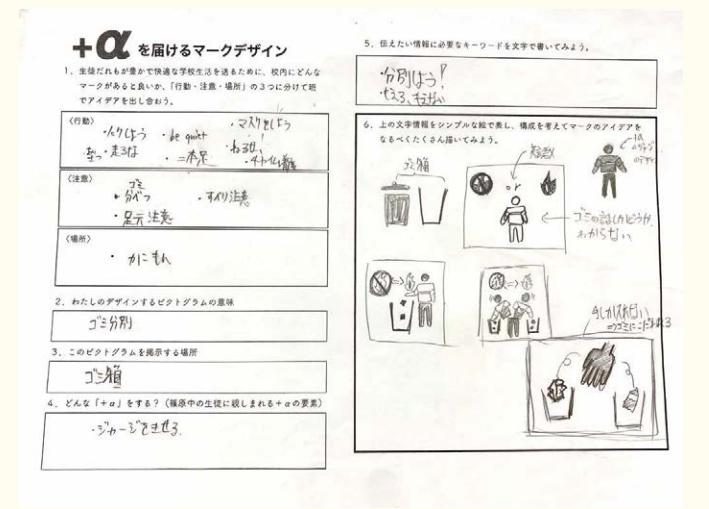
- 校内にあるピクトグラムや東京オリンピックのピクトグラムなど、身近な対象を鑑賞することで、実感を伴って学習に臨めるようにする。
- 「教室」のお題でピクトグラムを描いてクラスで共有し、見やすくわかりやすいデザインについての見方や感じ方を深める。



「教室」をお題としたピクトグラム例。



マークにしたい情報を共有する。



思い付いたらアイデアスケッチする。

展開1

● 活動内容

主題を決定し、アプリケーションを活用してアイデアを練る。

● 評価の視点

- 技** 描画アプリケーション「ibisPaint」を効果的に活用し、試行錯誤しながらデザインをすすめる。
- 発** アプリケーションの機能を理解し、情報を効果的に伝えるための形や色彩の構想を練る。
- 態表** 主体的に伝達のデザイン表現に取り組もうとしている。

評価ツール 作品データ

● 指導の工夫

「ibisPaint」の基本的な使い方を動画やプリントで指導した後、実際に操作しながら機能を理解させる。



使いながら機能を覚えていく。



●生徒への支援

操作に慣れていない生徒は、積極的に困っている人を支援するよう声かけをする。
インターネットで実在のピクトグラムを調べ、自身のデザインに活かすことも可とする。

●活動内容

- ・デザイン案をクラス内で共有し「アドバイス鑑賞会」を行う。
- ・アドバイスカードを送り合い、自分に届いたアドバイスを基にデザインを再検討する。

●評価の視点

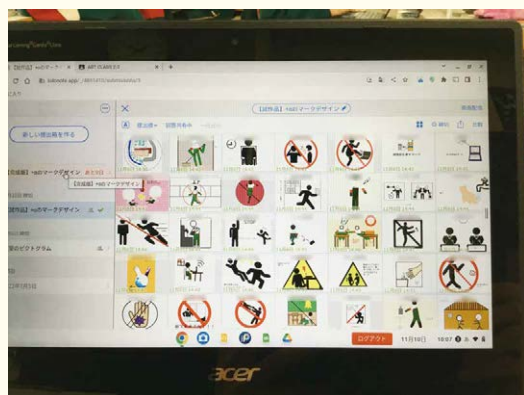
発 客観的な視点に立ち、デザインをより向上させるための具体的なイメージをつかみ、必要な情報を整理し、再度構想を練っている。

態表 主体的に伝達のデザイン表現に取り組もうとしている。

評価ツール 制作途中の作品など

●指導の工夫

- ・形や色彩の特徴を取り上げて、具体的にアドバイスするように声かけをする。
- ・アドバイスする相手は学習班などにして偏りが出ないようにする。



「ロイノート」の共有機能を用いて、相互鑑賞する。



アドバイスカードには、相手のデザインの「よい点」「改善点」を具体的に入力する。

●活動内容

- ・班ごとで発表を行った後、班の代表者を決め、クラス全体にプレゼンテーションをする。
- ・ピクトグラムを実際に掲示してみて、見え方や効果、見る人の反応を確かめさせる。

●評価の視点

鑑 鑑賞会を通して自他の表現のよさを感じ取り、認め合うとともに、表現の意図や創造的な工夫を考えている。

態鑑 主体的に伝えたい内容やイメージを感じ取り、見方や感じ方を深めようとしている。

評価ツール 鑑賞カード

●指導の工夫

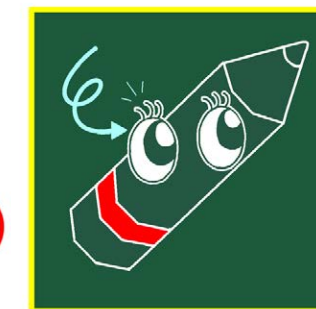
実際に掲示したピクトグラムについて、より見やすくわかりやすくなるよう、明度や情報量といった観点から再度改善点を考えさせることで、情報を効果的に視覚伝達するための形や色彩の工夫に気付くことができるよう促す。



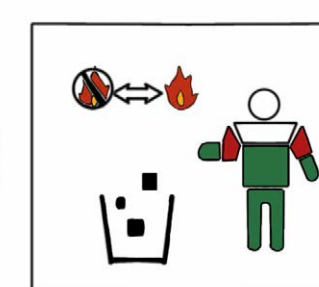
班の中で鑑賞し合い、意見を交換する。



クラスに向けたプレゼンテーション。



◎他者の意見を踏まえて形や色彩を粘り強く検討し、見る人や設置環境に寄り添う「+α」を効果的に取り入れて、よりよいデザインになるよう試行錯誤している。



◎伝えたい情報を効果的に見せるために形や色彩を工夫し、見る人や設置環境に寄り添う「+α」を意識してデザインしている。

ふりかえり

●生徒の変容

- ・何気なく見ているピクトグラムの中に多くの配慮や工夫があることに気づき、他者に情報を効果的に伝えることの大変さを実感し、マークの意義について理解を深めている生徒が多かった。
- ・ICT機器やアプリケーションを使うことで、相互鑑賞や制作途中の情報共有が容易となり、他者の意見やアイデアをスムーズに取り入れながらデザインを考えることができていた。

●授業のふりかえり

- ・生徒が自分の通う学校に掲示するピクトグラムを考える時、それらのマークを見る人もまた生徒自身となるため、「他者」の範囲が限定され過ぎてしまい、幅広い他者に寄り添う感覚の醸成や発想の広がりには課題を感じた。結果、ピクトグラムのヒト形に自校のジャージを着せるなど、安易な「+α」が目立ってしまったことが反省点である。
- ・よく知っているはずの「学校」と「生徒」の実態を第三者の視点で捉え直すために、自分たちの学校の特色や生徒像をグループで話し合うなど、「寄り添う」思考を深めるための事前活動が必要であるように感じた。
- ・アプリケーションによる表現活動は生徒間の経験の差が大きく影響し、慣れていない生徒はあっという間にデザインを描き上げてしまうが、不慣れな生徒は操作を覚えるまでに2~3時間かかってしまった。指導の場面では、こうした経験の差に対する配慮と個別の支援が必須であり、技術的な観点のみならず、[共通事項]を踏まえた知識・技能の深まりを適切に評価していくことが大切である(本題材では、作品づくりの技能と他者へのアドバイスの内容を同じ比重で評価の対象としている)。

「食卓を彩る」コーディネートの活動

B鑑賞(1)イ(ア)
〔共通事項〕(1)ア・イ

● 造形的な視点 ●
彩り豊かな食卓は
人にどんな効果をもたらしだろうか



題材について

「食卓を彩る」というテーマで、食事が空腹を満たすだけでなく、美術の力で食卓がより楽しく華やかで豊かな時間になるなど、生活の中の美術の働きについて考える題材です。

事前に取り組んだ3つの関連題材を基にした単元末の鑑賞題材。本題材に連なる3つの関連題材においては、制作する3つの作品の形や色彩の組み合わせがもたらす効果を、調和という視点で相互に関連付けて考え、素材に触れ、五感を働かせながら制作していくことで、形や色彩の美しさを追求する力が、実感を伴って培われるよう設定しています。工芸は美術の大事な側面であり、「モノ」に新たに命を吹き込み、作者が新たに美的な価値を創出する行為であり、その表現と鑑賞から用と美の調和を学ぶ大切な美術科の学習内容です。

また、使用する素材の特徴や出自を学ぶことにより、SDGsに対する考え方も養われると考えています。

学びの目標

| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう力・人間性等 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 食器の形や色彩、配置や料理との組み合わせなどにより、食卓全体のイメージが美しく豊かに調和することを理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> コーディネートされた食卓の造形的な美しさなどを感じ取り、食卓を楽しく華やかで豊かな時間にする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に生活や食卓を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組む。 |

評価規準(B規準)

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| <p>知 食器の形や色彩、配置や料理との組み合わせなどにより、食卓全体のイメージが美しく豊かに調和することを理解している。</p> | <p>鑑 コーディネートされた食卓の造形的な美しさなどを感じ取り、食卓を楽しく華やかで豊かな時間にする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に生活や食卓を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> |

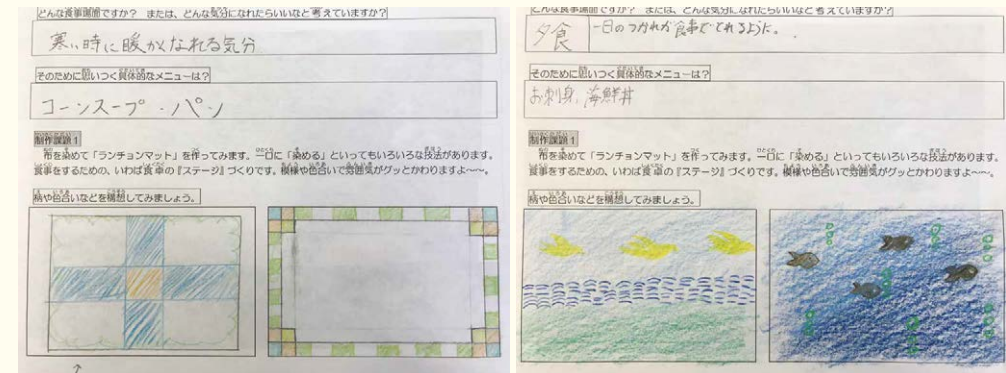
学習の流れ

関連題材 1

- 染色「ランチョンマット」制作
A表現(1)イ(ア)、(2)ア(ア)(イ)

- 題材について

料理のメニューや食材と、ランチョンマットの形や色彩との関係を考え、使う人の心情が豊かになる美しさと調和のとれた作品を考え制作する。



関連題材 2

- 陶芸「食器」制作
A表現(1)イ(ウ)、(2)ア(ア)(イ)

- 題材について

実際の料理や使用する場面を想定し、土に触れ、温かみを感じながら、美しく使いやすい食器をつくる。



●木工芸「カトラリー」制作

A表現(1)イ(ウ)、(2)ア(ア)(イ)

●題材について

素材の特徴を活かし、木の温もりや香り、色合いなどを大事にしながら、美しく使いやすいカトラリー（箸と箸置き・スプーン・フォークなど）をつくる。



●活動内容

- ・食べるメニューや食べる場所を想定し、制作した3つの工芸作品に盛り付けて写真を撮影する。
- ・実際に使ってみての率直な感想やどのような気分になれたかなど、制作活動の振り返りを記入する。

●評価の視点

知 制作した工芸作品の形や色彩と、料理との組み合わせや配置により、食卓が美しく豊かに調和することを理解している。

鑑 食卓を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。

態度 自分自身の生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価ツール 活動の写真、ワークシート

●指導の工夫

- ・素材の特徴や技法についても、あらためて調べて確認できるようにする。
- ・コーディネートについてだけでなく、実際に使ってみて感じたことや考えたことを記入させることで、美術で生活を豊かにすることができるという実感を持てるようにする。



テーマ(題名): 手作りのぜいたく

生徒のことは

- ・シンプルなものほど扱いやすいものはないと私は思いました。どんなものにも合わせられるのが最大の魅力です。
- ・撮影する際に構図やバランスを考えました。写真の撮り方でおいしそうに見えるか、見えないかが変わってきます。
- ・できるだけ、近づけて、でも近すぎて全体が見えないということがないように工夫しました。

😊 構想の時点で完成したイメージができていた。目的に向かって素材や用具を適切に活用して、意図に合った作品になっている。また、食事メニューの彩りや食器、カトラリーの配置なども含め、意図に合った効果が感じられ美しさを追求できている。

テーマ(題名): 5月のさわやかな和食

生徒のことは

- ・さわやかな色合いと模様で落ち着いた和食が味わえてよかったです。
- ・同じ食事でも、ランチョンマットや食器の組み合わせを工夫すると雰囲気はかなり変わったと思いました。

😊 構想の時点で完成した姿がある程度イメージできているが、素材や用具の活用でつまづきが見られた。



テーマ(題名): verano español(スペインの夏)

生徒のことは

- ・タコライスを感じ出すため、できるだけ鮮やかにしました。
- ・寒さをなくすためには、カラフルさが必要と考え、太陽のようなあたたかさを感じられるようになりました。
- ・タコライスという洋風の料理と和風の皿を合わせるとどうかと思ったけれど、結果ぴったりだった。
- ・スプーンは少し大きかったので小さければよかった。

😊 素材や用具を活用するスキルはあるが、コーディネートイメージに曖昧なところがある。



ふりかえり

●生徒の変容

- ・生徒の報告書に「自分の好みや(気持ちを)ポジティブにするにはどうすればいいのかを考えられたのがよかったです」とあり、3つの題材を通して、日常生活で使うための作品をつくりながら、常に自分自身の主題と向き合いながら活動したことが見取れた。
- ・3つの題材を通して形や色彩のもたらす効果の重要性を、味わいながらより深く理解しようとする姿が見られた。制作途中で自分の意図を確かめながら制作していたが、完成後実際に使用する段階で気付いたこともあったようだ。全体を通してコーディネートを楽しむことができ、美術の働きが、自分自身の生活をより豊かにすることができることへの関心がより高まった。
- ・3つの題材を通して形や色彩のもたらす効果の重要性を大事にしながら取り組んでいた。最初の構想から制作が進むに連れてさまざまな気付きがあり、コーディネートの全体像が大きく揺らいでいたため助言を行った。そのことにより、気付きを基に変化向上していくことは大事な学びであることを理解し、最終的な着地点を見出すことができていた。

●授業のふりかえり

- ・導入時の構想シート記入の際、写真画像などを使用し、生徒自身のこれまでの体験の掘り起こしを行ってはいけるものの、食べたいメニューとシチュエーション、ランチョンマットの色味や柄、そして実現するための染色技法とのマッチングが明確になるまで個人差がある。ここで効果を発揮するのが友だちとの会話で「〇〇が好きなんだよなー」というつぶやきや、「俺、〇〇にしたよ」や、「〇〇にするなら〇色とかがいいんじゃない?」というやりとりの中での気付きである。ここでの耕しが十分にできたかどうか、毎年の一番大きな反省事項になっている。
- ・3つの制作の中で、木工に関しては、箸とその他のカトラリー(スプーンやフォークなど)との間に進度差が生じてしまうため、箸については箸置きとのセットとしている。しかし、日常生活で箸置きを使用している生徒が思いのほか少なかったため、箸と箸置きを選択した生徒に、機能性などをしっかり説明し、学べるようにするべきだった。
- ・制作に時間がかかるため、季節の移り変わりとともに、当初構想した食卓と変化していくことを、どのように捉えるかについては、生徒本人任せで曖昧な部分があることが課題となった。今年度は、制作期間を通して「食」と向き合いながら考えるように指導を行った。
- ・一人1台のタブレット端末が導入されたことにより、コーディネートをシミュレーションするにあたり、撮影した画像を3D化することで、構想を確かめるためのツールにできると考えている。バーチャルの利点を活用しつつ、リアルの大切さへとつなげていくことが今後の課題と考えている。

※P.22~25は、聖ステパノ学園小中学校での実践

15歳の私

～今を見つめ、未来を願う思いを込めて～



A表現(1)ア(ア)、(2)ア(ア)
B鑑賞(1)ア(ア)
【共通事項】(1)ア・イ

造形的な視点

「15歳の私」の姿は
どこから感じるのだろうか



題材について

本題材では、図工・美術で学び得た経験や15年間の人生を振り返り、自分自身を俯瞰して今を見つめ、「これからどんな大人になりたいか」を考え、その人物像や憧れの気持ちを作品に表すことをねらいとしました。

使用する木箱に「自分の今の思い」を閉じ込め、箱の外側に表現方法や材料を吟味して表現します。一人ひとりの意図する表現が異なり、目的は同じでも色付けをしたり箱を彫ったり、あるいは立体造形を行ったり、さまざまな生徒の姿が見られます。しかしそれは、これまでの経験や感じたことが異なるがゆえに至極当然なことであり、時に周囲と違うことへの不安や戸惑いを感じている様子は、卒業後の人生の一步を踏み出す今の自分の姿を投影するものです。

そのようなねらいも授業を重ねるごとに理解し、完成する頃にはそれぞれが決意に満ちた表情で作品を誇らしげに見つめる姿があります。そのことこそ『15歳の私』の姿に他ならない。自分に向けた未来への決意表明であると考えます。

学びの目標

| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう力・人間性等 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 形や色彩、材質などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさやそのものらしさなどを全体のイメージで捉えることを理解する。 さまざまな材料の特性を理解し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表す。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分自身の内面を見つめ、感じ取ったことなどを基に主題を生み出し、作品の全体やそれらを構成する要素との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> 美術の創造活動の喜びを味わい、これまでの経験などの振り返りを基に表したい『私』を表現したり鑑賞したりする学習活動に、主体的に取り組もうとする。 |

評価規準(B規準)

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| <p>知 形や色彩、材質などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさやそのものらしさなどを捉えることを理解している。</p> <p>技 さまざまな材料の特性を理解し、それらの活かし方を考え、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。</p> | <p>発 自分自身の内面を見つめ、感じ取ったことなどを基に主題を生み出し、作品としての全体やそれらを構成する要素との関係などを考え、構想を練っている。</p> <p>鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。</p> | <p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい今までの経験などの振り返りを基に表したい『私』について構想を練り、表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなど鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> |

学習の流れ

導入

●活動内容

自画像をはじめとしたさまざまな作品を鑑賞し、「私」を表す表現について意見や考えを述べ合いながら表したいことについてテーマを明確にする。木製の箱を支持体として使用することを伝え、どんな「私」を表すか考える。

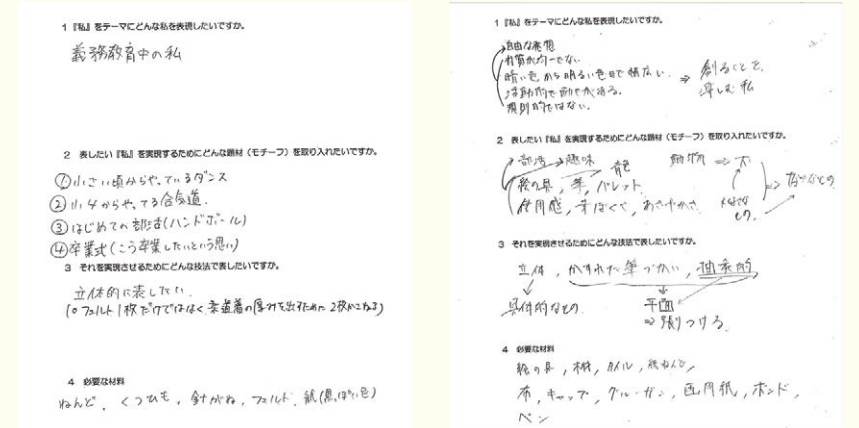
●評価の視点

- 知** 作品のイメージや印象は、どの部分の表現や色彩から感じるのかを理解している。
- 発** 自身の内面や過去の経験などから表したい主題を明確にしている。

評価ツール ワークシート、発言の内容など

●指導の工夫

自身のこだわりや経験を振り返るよう投げかけたり、さまざまな作品を見せるなどして主題を生み出すよう促す。また、主題の内容から作品を再度見つめる。



😊 今までの自分を振り返りながら、習い事や部活動に打ち込んでいた自分に気づき、それをどのような作品として表そうか、素材を吟味しながらイメージを広げようとしている。

😊 ワークシートを通して自分が好きな事について、その理由を探りながら表現方法などを決め、表したい作品をイメージしようとしている。

展開1

●活動内容

表したい「私」をさまざまな角度で捉え、どんな「私」を表したいかワークシートを使いながら表出させていく。また、それをどんな表現方法で表すかアイデアスケッチなどを重ねながら構想を練る。

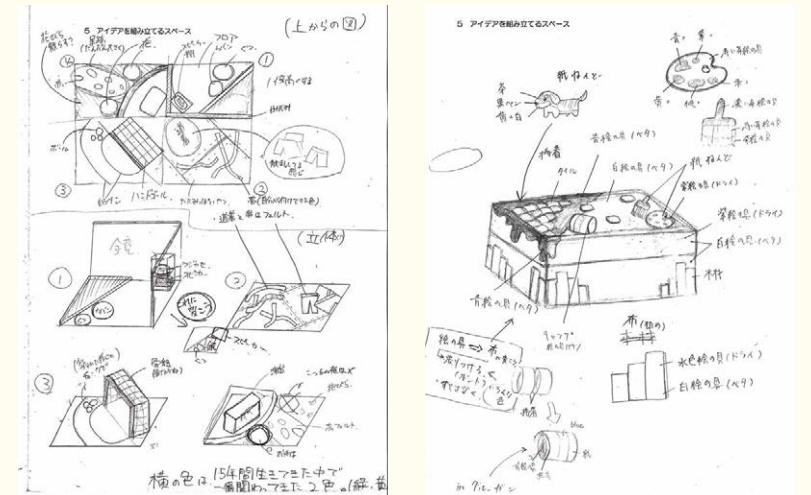
●評価の視点

- 発** 表したい主題を基に、支持体の特徴や使用する材料の特性を踏まえ、細かい部分と全体のバランスを考え、構想を練っている。
- 態表** 表したい主題を効果的に表すために、形や色彩、材料の組み合わせについて試行錯誤して表そうとしている。

評価ツール アイデアスケッチ

●指導の工夫

構想がまとまらない場合は、形や色彩、材質などの効果と主題との関係について考えさせたり、主題に基づいた全体のイメージを捉えさせたりするなどの指導を行う。



😊 表したい主題を基に必要なモチーフを吟味しながら、どのような構成が考えられるか、形や色彩を意識しながらイメージをより具体的なものにしてようとしている。

😊 主題を深めていきながら、元々考えていた素材を変更するなど、常にアイデアをアップデートしながら本当に表したいものに迫ろうとしている。

●活動内容

どんな作品に表現していくか、材料とワークシートを使いながら、見通しを立て、作品を制作する。

●評価の視点

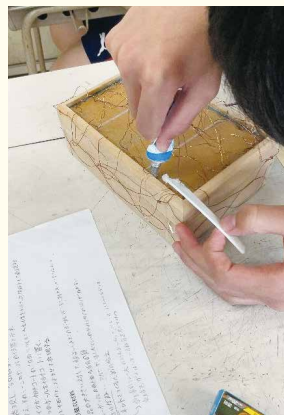
技 材料の特性を理解し、意図に応じた自分の表現方法を追求して、創造的に表そうとしている。

態度 表現方法を追求し、見通しを持って創造的に表そうとしている。

評価ツール 制作途中の作品など

●指導の工夫

- ・他の生徒の制作を紹介するなどして表現方法の工夫について興味や関心を高め、考えるよう促す。
- ・主題をもう一度見直させたり、表現の意図とワークシートで考えたことを関連させて再考させたりするなどの指導を行う。



「自分と人とのつながり」を表すために細い銅線をハンダや接着剤でつなげながら、箱を包むような立体作品を制作している。銅線同士の距離や位置関係にも意識を働かせている。



自分の親が聴いていた洋楽の影響で音楽の道を志そうとしているこの生徒は、自宅から実際に使用していたCDやギターのピックを持参し、作品を表そうとしている。



⑥ さまざまな色の組み合わせを吟味しながら、自分の将来をパズルのピースに見立て、色を当てはめつつ自分の将来をつくり出そうとしている。

⑤ 自分の可能性や夢を花に見立て、持参した造花を瓶に閉じ込め、将来に向けた自己実現の解放を表そうとしている。

●活動内容

- ・制作活動を振り返り、自分の作品の解説と振り返りを書く。
- ・お互いの完成した作品を鑑賞し、作品から感じたことや考えたことを説明し合う。

●評価の視点

知 「15歳の私」の姿を、作品の形や色彩の性質や効果などから捉え、理解しようとしている。

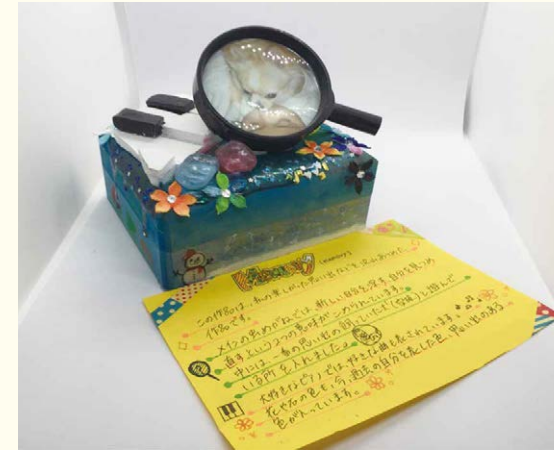
鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。

態度 生徒それぞれの「15歳の私」の造形的な特徴やよさを感じ取ろうとしている。

評価ツール 作品、作品解説、発言の内容

●指導の工夫

- ・形や色彩などの効果について具体例を示したり、主題から作品を見つめさせたり、作者の心情について考えさせたりする。
- ・はじめのアイデアスケッチと完成作品との違いについて、その理由を振り返る時間を設ける。



『Memory』

⑤ 今まで得意としてきたピアノをスチレンボードで表し、幼い頃の自分と当時飼っていた愛犬を虫眼鏡という今の私が過去を見つめているというメタ視点で表されている。



『15AGE』

⑥ 使われている描画材は大好きな化粧品である。赤い部分はマニキュアが幾重にも塗り重ねられており、三角形の部分は自分が化粧をするときに使用していた鏡をカットして貼ったものである。そしてこの作品は大好きな親友の作品と対になっており、二つ並べると「15」と、それをかたどるハートが浮かび上がる仕掛けがされている。



『人生の地層』

⑤ 自分が生まれ育った家の庭の土と校庭の土を紙粘土に練り込み、地層のように交互に重ねて表した表現が特筆すべき部分である。そんな地層の上に咲いた一輪の花を、もう一人の自分(メタ的概念)が見つめている今の私を向こう側の鏡で表した。



『気球にのせて』

⑥ これからの未来に旅立つ自分の姿を気球に重ねて表したものである。気球の表面に貼られている素材は、自分自身が幼い頃に着ていた服を裁断し貼り合わせたもの。素材を通して今までの自分の積み重ねが表されている。

ふりかえり

●生徒の変容

自分自身を見つめるという行為の中には、その姿からはわかりにくい心の動きがある。しかし、スケッチブックにメモを重ねる生徒や、今までの授業で積み重ねてきたアイデアスケッチを見返す生徒、幼き日々をお互いが語り合う姿など実にさまざまな様子が見られた。そのような活動を通して、自分自身を見つめるきっかけや表したいことを探るきっかけを与えることができたと思う。特に表現の苦手な生徒にとってハードルの高い題材ではあったが、周囲のそのような姿に感化され、自分を表現していく姿も見られた。また、はじめに「部活動で頑張る私」と主題設定した生徒も、制作を重ねながら「部活動を通して諦めない気持ちとこれからの人生における困難にも負けない私」と主題を深め、アップデートする生徒も見られた。

●授業改善の視点

本題材では、等身大の「私」をどのような手段で、どのように表すか、試行錯誤を重ねながら自己決定していくことを一つのねらいとした。お膳立てして行うような、生徒に「させている」授業ではなく、生徒自身が主体的になって自分の姿を模索していく授業を展開するには、個に応じた色々な手立ての提供が必要であると感じた。材料や用具の扱いについては、基礎的事項としてアドバイスするものの、主題を追求するプロセスにおいては、発想や構想の深まりが得られるよう、大部分を生徒に委ねることとした。しかしながら、そうしたことで手が止まったり、表現が委縮してしまったりする生徒も見られた。待ちのスタンスを大事にしつつ、生徒の特性に応じて相談に乗ることも積極的に行いたい。日頃の子どもたちとの関係づくりや、3年間の授業の中でのさまざまな関わりが上手く機能するためには、どのようなことが必要なのか、今後も検討を重ねていきたい。

はいりこんでみる

～どんな人がどんな思いでなにを 池田学作『誕生』～

B鑑賞(1)ア(ア)
[共通事項](1)ア・イ



● 造形的な視点 ●

全体と細部の
イメージを比較すると
どのような印象を
受けるだろうか



題材について

池田学の『誕生』。その作品の大きさ、超絶技巧と呼ばれる細かさは、私たちを引き付ける魅力があります。震災や復興への思いを表現していますが、制作中に作者の考え方も流転しているさまが作品にも現れています。幸も不幸も全て描かれた細密な絵のどこに何が潜んでいるかを覗き込みながら、作者が伝えたいことや思考の変化について思いを深めていきます。

この鑑賞活動では超絶技巧との出会いにとどまらず、作者の思いとその表現や、作品の社会における役割など、絵画表現が持つ力について、生徒自身も自分を振り返りながら考えていきます。

学びの目標

| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう力・人間性等 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 形や色彩などが感情にもたらす効果や、描かれているものの組み合わせ、構図などに着目し、全体や細部におけるイメージを捉えることを理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 作者の訴えたいことや、表現の意図、造形的な工夫を感じ取りながら、社会における美術の力や、表現することの意味について考えるなどして、見方や感じ方を深める。 | <ul style="list-style-type: none"> 絵に込められた作者の訴えたいことなどを考え、互いの考えを尊重し合い、見方や感じ方を深めながら意欲的に鑑賞に取り組む。 |

評価規準(B規準)

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| 知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、描かれているものの組み合わせ、構図などを基に、全体と細部のイメージを比較したり、作風などで捉えたりすることを理解している。 | 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な描き方の工夫、社会における美術の力や表現することの意味について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 | 態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に絵に込められた作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫などを考え、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |

学習の流れ

導入

● 活動内容

- ・ 出会いの直感を大事に、作品から感じたイメージを発表する。
- ・ 価値意識を大事にしながら、作品に何が描かれているか探し、題名を付ける。

● 評価の視点

知 作品を鑑賞し、形や色彩、表現方法に着目し、想像力を働かせて、全体のイメージを捉えている。

評価ツール ワークシート

● 指導の工夫

- ・ 生徒が作品との出会いの直感を大事にできるように、はじめは作品の全体像を映像で見せて感想を聞き取る。
- ・ 作品にどんな題名を付けるか考えることで、今の自分の価値意識を大事にさせ、考えを明確にする。

【鑑賞】 年 月 日()

①はじめに感じたこと

②何が描かれてるか、見つけてみよう。

③この作品の題名を考えよう。
題名

その理由

題名 ()

作者名 ()

1973～現在

大きさ(T)cm×(W)cm

制作年 2013～2016

描画材 ()

保管場所 佐賀県立美術館

池田学 誕生 2013-2016 紙にペン、インク、透明水彩 300×400cm 佐賀県立美術館蔵 デジタルアーカイブ：凸版印刷株式会社 ©IKEDA Manabu, Courtesy Mizuma Art Gallery, Tokyo / Singapore

3年 組 番 前

もう一度振り返ってみてみた後のあなたの考え

題名の例と生徒のこぼれ

- 「地球」：美しいところもあればゴミになっているところもある。
- 「表と裏」：ゴミの部分で上のきれいなものを支えて、結果的に根っこから崩れている。
- 「すべて入った桜」：日本のすべてを表している。

● 生徒への支援

生徒それぞれの感想を全体に共有し、自分以外の価値や意識に触れることで、自らの価値観を考えさせる。

展開1

● 活動内容

- ・ 作者の紹介と、表現方法や意図について触れる。
- ・ 描き方や制作過程、年代から推測し、震災の絵だと理解する。

● 評価の視点

知 作品の大きさや描画材、細密描写と超絶技巧、構成の美しさなど造形的な特徴を理解している。

●活動内容

- ・グループごとにタブレット端末で作品の高精画像を表示し、作品を細かく見るにより、自分の想像したものとの違いや、本当は何が描かれていたのかを確かめる。
- ・「花」の拡大部分を見て、人工物を花に見立てて描いた意図を考える。
- ・描かれているものや構図を基に、自分なりの考え方を育てよう、再度鑑賞する。

●評価の視点

- 鑑** 初見の想像との違いを感じ、作者の細密表現の仕方やそこに含まれる想いが、どんなものであるか味わいながら、社会における美術の力について考えるなどして、見方や考え方を深め、美意識を高めている。
- 態鑑** 作者の思いや考えを学び、主体的に社会における美術の力について考えを深めようとしている。

評価ツール ワークシート

●指導の工夫

- ・描かれているものを探して記入させたり、教師が指示したものを見つけさせたりして興味を引き出す。
 - ・4人グループで自然に意見を交流させながら一人ひとりが活動できる授業を展開し、個々の思考を深める。感じる、聞く、話す場面を効果的に設定し、考えを振り返ったり、確かなものにしたししながら、見方や感じ方を深めていく。
 - ・タブレット端末は、あえてグループで1台使用とすることで、生徒同士の対話を促す。
 - ・作品をじっくり細かく見て、よさや美しさに気付いたり、作者の意図に思いを巡らせたりできるよう、作者の紹介や、発問、ワークシートの記入などの順番やタイミングを工夫する。
 - ・ワークシートに書かれた個々の考えやグループ内でのつぶやきを拾い上げ、全体に共有する。
 - ・作品画像は高精細のものを活用する。
- ※日本語教出版 令和3年度版教科書『美術2・3下』では二次元コードから画像を表示できる



😊
ワークシートだけでは見えない部分を画像で確認する。全体像(ワークシート)と部分(画像)を交互に確認している。グループで1台の端末を覗きながら、考えの交流が生まれていく。

生徒のこぼ

- 「人の生活の汚いところが壊れている」
- 「遠くから見るときれいで騙された感じ。よく見ると人の作り出したものがゴミになっている」
- 「きれいな状態の海に流されている」
- 「見た目が桜だったのに、スクリュウの花だった」
- 「怖いものをきれいに感じていた。違和感が怖い」

●生徒への支援

- ・技法に加え、描かれた順番、描かれているものが配置によっても変化しているさまや、時間による作者の心情の変化にも注目させる。
- ・災害復興の要素だけでなく、自分自身の考え方で作品を捉えていけるように声がけをする。

●活動内容

作品を鑑賞し、新たに感じたり考えたりしたことについてまとめ、感想を交流する。

●評価の視点

- 鑑** 絵画表現の伝える力について考えている。美術が持つ社会的な役割や作品を通して伝えたかったこととは何かについて考えを深めている。
- 態鑑** 授業の前と後での考え方の変化に気付き、自分の考えを確かなものになっている。

もう一度振り返ってみてみた後のあなたの考え
 災害が書くという物があるのか、上の花をよく見ると船のフワフワと災害が描かれていると気づく。自分の作品は災害による影響を大きく感じることができ、その辺りには災害の被害を伝えるための作品も考えた。災害の被害は災害により無くなる状態から復興する様子も表しているのだと思った。

○桜のような色で花のように見える人工物、美しいがゴミの集まった画面の組み合わせについて考えている。

もう一度振り返ってみてみた後のあなたの考え
 この絵を見て最初はきれいな世界だと思ったが、アツクして見たりすると人間の創造物が下から出てきてゴミ(ガラクタ)だらけで人間のくくりでして世界が災害でそれが0に近くになり、こうもして新しい世界がたえられる意味でアツクして見たり感じた。

○生活の中の経験から、人がつくった災いと、自然の災いの両方を考えながら鑑賞している。

もう一度振り返ってみてみた後のあなたの考え 東日本大震災は、2011年におきた。この絵は、2013年から書き始められていて、絵が書き始められるまでの2年間は、復興、復興して、新しく生まれ変わるようにして、2年間で、作者が下から描いているのは、下は震災直後で上は復興して新しく生まれ変わって、町を表現しているのだと考えた。「誕生」は、町が新しくなってもともどっていき様子を表現しているのだと考えた。

○制作過程を理解し、下から上へと変化する時間と、作者の気持ちについて考えている。

もう一度振り返ってみてみた後のあなたの考え なんと下から描いたのか考えたとき、あくまで「災害の絵だから」と思えないように、最初に描いたのかなと思ったのと、木や木を上へ進ませて上へ行くように花があるので復興させようとしていたと思った。

○制作過程を理解し、下から上へと伸びる樹木に復興のイメージを捉えて考えている。

●生徒への支援

描いてあるものを探したい気持ちだけにとどめず、グループ活動で、生徒のつぶやきを拾い、交流の発展になるようにファシリテートをすることが必要。どうしてこの表現が、色が、ものが作品に必要なだったのかを考えさせるために、途中、花のように木のように見えていたものが、本物ではない、人工的なもので置き換えられているところなどを全体に投げかけた。作者の描いてきた時間の経過や手順、そこからの心情の変化について再度触れていくと、美術の伝える力や社会と関わりについて考えるきっかけになる。

ふりかえり

●生徒の変容

大きさや美しさに圧倒され、ものや形を探す鑑賞から、なぜこの形が選ばれたのか疑問を持ち、探求する鑑賞が始まった。生徒個々の生き方を媒介にした鑑賞が行われ、考えやイメージを何かに置き換えて表現することができていた。美術の伝える力を感じている様子も見られた。

●授業改善の視点

グループでの会話から探求したり個を振り返ったりする場面をつくることはできたが、一人1台で画面を見ながらでも考えを伝え合えるような交流アプリの活用ができるとよい。疑問から探求に変えられるような教師の投げかけを考えたい。



もっと、知りたい!! 美術の評価～実践編～

日文教授用資料 [中学校美術]
令和6年(2024年)1月30日発行

編集・発行人 佐々木 秀樹

日本文教出版株式会社
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6692-1261
FAX: 06-6606-5171

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33646

日本文教出版株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6692-1261 FAX: 06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL: 03-3389-4611 FAX: 03-3389-4618

九州本社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL: 092-531-7696 FAX: 092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B
TEL: 052-979-7260 FAX: 052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL: 011-764-1201 FAX: 011-764-0690